

## 沖縄や北海道より気分的に近い島・台湾（その1） 佐伯 順弘（岐阜県）

夏のアイラ島行を終え、通常ならば次の旅行は夏なのだが、この時期、調子に乗っていたようで、冬も海外に出かけることにした。職場の上司が台湾のことを聞いてきたので、話すと冬休みに台湾に行くとのこと。冬休みに台湾か。悪くない。上司が行くなら下っ端が行ったところで文句を言われることもないだろうと、瞬時に計画を立て、航空券を確保した。計画を立てるのに0.005秒、航空券検索から確保まで10分である。一般レベルのコンピュータシステムの反応速度ではこんなところだろうが、ご存知の通り、私の中に標準装備されている電腦は量子コンピュータレベルである。考えるだけなら超高速なのだ。いくら処理速度が速くてもそれに必要なデータが用意されていなければ、処理完了まで時間がかかるだろうと思われるかもしれないが、常に旅行、小菅キャンプ、登山、ウイスキー、ウイスキー以外の酒、燻製、燻製以外のつまみ、アウトドア関連の起業、学校ICT関連の起業、海水淡水化及び砂漠緑化関連の起業、外宇宙への移住のことくらいしか考えていないので、膨大なデータ常に更新されているのである。

というわけで、若干文章にすると長いですが、瞬時に冬の台湾・高雄行きが立案され、秋の運動会が終わるころには始動した。

## Travel planning

DAY1 5<sup>th</sup> JAN NGO→TPE  
 DAY2 6<sup>th</sup> JAN TPE→KHH  
 DAY3 7<sup>th</sup> JAN KHH  
 DAY4 8<sup>th</sup> JAN KHH  
 DAY5 9<sup>th</sup> JAN KHH→TPE→NGO

**DAY1 (5JAN2017) 名古屋→台北**

0800 起床、朝食。ぐだぐだしつつ、正月ののんびり生活を始める。当然、旅行の準備は何もしていない。しかし、数年後この体制がとんでもない悲劇を引き起こすことになる。偶然、旅行前日にパスポートを確認してみると、1カ月前に切れているではないか。結局その時の旅行はキャンセル。LCCだったので金銭的損害は少なかったものの航空券代は捨てることになった。昔は航空券の予約の時にパスポートナンバー共に有効期限も伝えなければならなかったが、LCCのネット予約などは伝える必要がないので有効期限切れに気付かないことがある。おそらくこれはそういうことを狙っているのではないかと疑っているのだが、まあ、それは個人の責任なので十分回避できる損害だ。冷静に考えれば、それは単に個人が間抜けなのであり、全責任は自分自身にある。パスポートの有効期限は常に意識して生きるようにしたい。

1000 準備開始。実は元旦より風邪気味であり、昨日の

日直勤務で悪化するも旅行はできる程度になっている。天候はやや雲が多めだが、晴。昼間は暖かい。活動資金の確認をする。

64000JPY+5651NTD

(5651NTDは15000JPY相当である。)

4泊5日、航空券+宿泊代はCC払いなので、こんなにも使わないし、カードがあるので多めだが、財布の中身をすべて旅行用財布に移動する。旅行装備は常に揃えてあり、即応体制は整っている（パスポート有効期限は確認していなかったが）、出発準備完了までは速い。忘れ物など、パスポート、航空券（最近は現物さえない）、現金が少しとCCの3点があれば、特に問題はない。今回もコンパクトにいつもの機内持ち込み手荷物用バックパックに収納する。液体、刃物など危険物は入れられないが、最初から入る予定はないし、必要であれば必要なものは他のもので代用する訓練は積んでいるので、どうということはない。使う可能性が極めて小さい技術ではあるが、知識・技術の習得はもっともコンパクトで安く常に最新にできる装備の1つである。また、敵に奪われることもないので安全である。

1150 日本ライン今渡駅着。名古屋鉄道の駅で中部国際空港セントレアへ直通の電車が出ている。

が、しかし！1147 既に中部国際空港行きの列車は出発していた。もちろん、そういうことも想定して、十分な時間的余裕をもってきたのだが、3秒ほど落ち込むほどの悔しさである。しかも、直通なら、終着点が中部国際空港なので、最悪寝過ごしても誰かが起こしてくれるだろう。しかし、その列車以外は乗継が必要なので、寝る暇もない。

ま、あそんでいるのだから、どうでもいいのだが。



1203 日本ライン今渡発。中部国際空港まで1500円。犬山駅で乗り換え1224発。名古屋で乗り換え1301発。中部国際空港駅1336着。

1344 チェックイン完了。空港駅に着いて8分後である。まったく混んでいない。フライトの3時間前である。3時間も何をするんだという考えもあるだろうが、空港が好きなので特に問題はない。プールや映画スペースがある空港

なら、半日前に到着しても問題ない。うろうろしたり、食べたりすればいい。もちろん、出国審査が混んでいそうだったら早めに通過するのもいい。エグザイルかなんかが、ライブをやるらしく、ステージが作られていた。

1400 昼食。その後、風邪薬を買う。

1420 セントレアプレミアムラウンジへ。カード会社の特典は使うべし。ビールを飲んで寛ぐ。置いてあるビール「ハートランド」をいただきつつ、電子機器をチャージし、旅のメモを書く。重要な時間である。

1500 トイレでヒートテックを脱ぐ。空港内は寒くないし、台湾は1月でも基本的にそれほど寒くない。

1510 出国手続きへ。⇒⇒1518 抜けた。早すぎ。

1605 ボーディング時刻。想定内だが、機材到着遅れのためボーディング時刻が遅れるとのこと。大したことはない。台湾用財布を準備。

出発～搭乗待ちの出費

(交通) 日本ライン～中部国際 ¥1500

(交通) 名古屋から特急料金 ¥360

(食費) 昼食 ¥950

(医療) 風邪薬 ¥1490

1630 ボーディングの列に並ぶ。

1700 いつの間にか Take off。

1745 機内食。カレー牛肉飯、フルーツ、パイナップルケーキ (パイナップルケーキ、台湾名産)



1930 後 30 分で到着とのアナウンス。約 3 時間のフライト。快適であった。

★TPE 時間に変更⇒1 時間戻す。以後台湾時間

1830 後 30 分で到着とのアナウンス。

1900 台湾・桃園国際空港到着



1915 入境検査 (入国審査) の列に並ぶ。

1927 あっさり通過。正月の混雑はない。

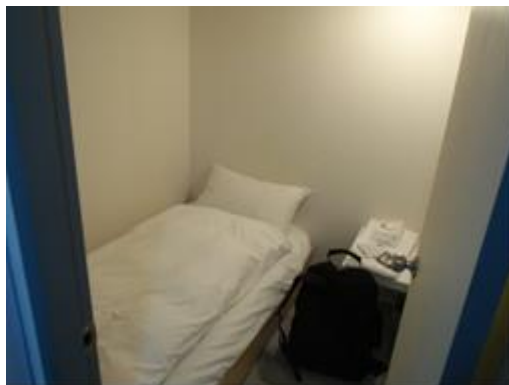
両替 40000JPY→10670NTD

1935 台北の中心部に行くためにはどのバスに乗るべきか探索する。土地勘は既についているのでこれもすぐ見つかる。1939 バスチケット入手。125NTD

1945 桃園国際空港発。極めて円滑な流れである。2030 台北車站 (台北鉄道駅) に到着。台北駅はシリウスのような青白くライトアップされ、美しい。台北駅を基準に方位をリセットし、予約しておいたホテルを目指す。海外旅行を始めた頃はホテルの予約などというぬるいことはせず、その時の感覚でホテルを選び、泊まったものだが、最近は夜到着だけでなく、ネットでお気軽に確保するようになった。フライトのトラブルや予定変更したいときのフットワークには欠けるが楽しい。敢えて困難に飛び込むことはしないくらいには大人になってしまったということだ。

2050 品格子旅店到着。2055 チェックイン完了。

本当にベッド、サイドテーブル、ディスプレイ、電話があるだけの部屋。窓さえない。しかし、キャンペーン価格であるものの¥2000! それに寝るだけなら何の問題もない。



2110 周辺の探索へ出かける。

2120 それほど空腹だったわけではないのだが、食わなくなって食べてしまったのが、ルウロウファン 25 元 (= NTD) である。店によって微妙に違うがほぼ同じものが出てくる。大と小が選べるのがいい。今回は小を選んでみた。とにかく食べたいものに遭遇する可能性が高い台湾では、とりあえず「小」にしておくことが肝要である。それで、食べたいものに出会わなかった場合は、それはそれで無駄なカロリーを摂らずに済んだと安心すればよいのである。



台北車站を基点にして、MRT (地下鉄) 沿いに地上を歩く。繁華街などが並んでいるが、バーなどに入るほど台北

には慣れていない。それに明日は移動日である。危険を冒すわけにはいかない。それが冒険探検部のOBであったとしてもだ。台北の1月の夜は暖かいわけではないが歩いていると、寒さは感じない。水分補給の必要性を感じたので、全家（ファミマ）で水を買ひ、補給する。水分の適切な補給、食べ過ぎないこと、この辺りが探索者として忘れてはならない項目に挙げられるのは間違いのないところだ。



ひたすら探索を続け、疲れたので近くにあった地下鉄駅から台北車站まで戻る。

台湾の地下鉄は台北、高雄ともに発達しており、わかりやすい路線図と運賃が表示されているので乗りやすい。

台北の地下鉄で使われているトークン（コイン型のICチケットのようなもの）は以前住んでいた高雄とは違う種類のトークンだが、基本的には同じ。Suicaのようなカードも存在し、長く滞在するなら持っておいた方が便利だと思う。今回はすぐに高雄に移動するのでカードを購入したりはしない。とはいうものの高雄の交通カードとロンドンの交通カードはずっと持っているし、チャージもあるのでまた行くときには現地の人のような顔で使う。



2200 ころなのでまだ多くの人々が活動中である。帰宅ラッシュなのであろうか、比較的乗客は多かった。基本的に地下鉄はそれほど混雑していない。

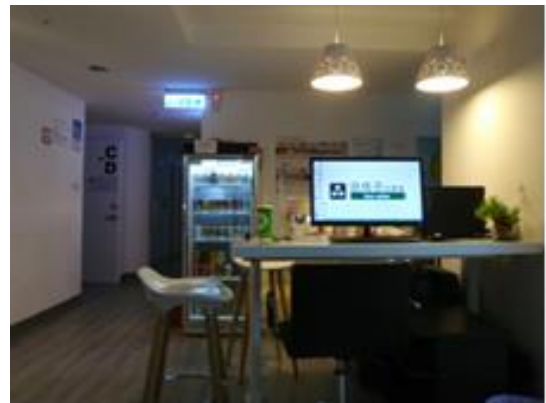


喫煙はもちろんのこと、飲食も禁じられており、守らない人はいない。ちなみに違反者には罰金が科される。その

辺りのマナーは日本と同様にしっかりしているが、日本が完全に負けていることが1つある。それは、老人の他、妊婦など座席を必要としている方への座席の譲り方がとてつもなく速いのである。私も比較的譲る方だと自覚しているのだが、台湾の若者に勝ったことは一度もない。とにかく、さっと立つ。ぼんやり乗っていないのであろうか。こちらは基本ぼんやり、時々人間観察、時々車外の広告を読んで動体視力の確認などを行っているため、どうしても気づくのが遅れる。そして、立とうと思った時には既に台湾の若者が立ち上がっているのである。そして、さも当然であるかのような自然な雰囲気なのである。日本ではどうだろうか。この辺りは日本人として恥ずかしく感じる部分があることも確かである。

2240 そんなことを考えている内に、目的の駅に到着。台北車站の地下鉄駅構内には出口の表示が明確に示されているので出口番号さえ覚えていれば、迷うことなく地上に出られるのは日本と変わらないが、広くて歩き疲れるのも同様である。

2325 ホテル帰着。寝るだけの場所と割り切ってはいるが、PCが使えたり、食事をするスペースがあったりと閉塞感はない。フロントのスタッフも気さくでよい対応である。



それでも、出発時から風邪気味であったにも関わらず積極的に探索活動に従事したため、若干疲れた。シャワー後、ほぼ完治に近いと判断できたが、風邪薬を飲んでおく。旅日記を書き、会計処理をして、とりあえず寝る。

台湾2日目は、午前中に台北の探索。午後からは新幹線で高雄へ移動。台湾新幹線（高速鉄道：高鐵）の便数は多い上、座れなかったことはないのも、大変便利で気楽な移動手段だ。

（本日の会計）

所持金 5651 元

- バス 125 元
- ルウロウ飯 25 元
- 水 18 元 + 10 元
- MRT 20 元

1日目合計 198 元

（つづく）